



千葉労働動向

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番

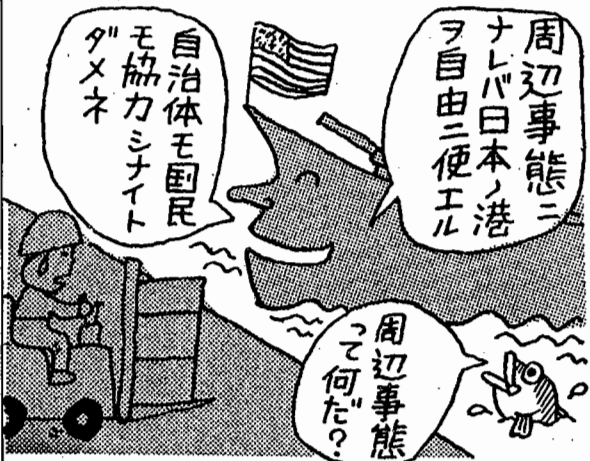
(公) 043 (222) 7207 番

98 9 16 No. 4847

北朝鮮によるミサイル発射を口実とする 日本の朝鮮侵略戦争突入を許すな

9・23総決起に向けて④

緊迫する情勢



「北朝鮮脅威」を[あおり](#)関連法成立を狙う小淵内閣

日米両政府は、北朝鮮のミサイル発射事件を絶好の口実にして、「朝鮮半島有事」を[あおり](#)、本格的な戦争の準備の動きを急速に強めている。

事態はぬきさしならない状況をむかえている。「新安保ガイドライン関連法」をめぐる攻防は、この数カ月間のたたかいはかんにかかっている。戦争法案—関連法案を絶対成立させてはならない。全力で9・23全国集會に結集しよう。

北朝鮮を追いつめていけるのは新安保ガイドライン(戦争発動計画)だ

報道によれば八月三十一日、北朝鮮金正日体制は弾道ミサイルを発射し、三陸沖に到達したといわれている。

これを絶好の口実として、一斉に「北朝鮮の脅威論」を満展開し、有事・戦時体制に大きくカジを切ろうとしている。ここではつきりさせるべきことは、北朝鮮をしてミサイル発射にまで追い込んでいけるのは、実は日米新安保ガイドライン(戦争発動計画)をもって、猛烈な戦争重圧を加えてきたことが「事件」の元凶であるということである。

事実アメリカ・クリントンは八月二十日に、アフガニスタンとスーダンに対するミサイル爆撃を強行。小淵政権は即座に「理解できる」と支持を表明している。こうした戦争発動と新ガイドライン攻撃が、体制的危機にあえぐ金正日体制を一気に追い込み、軍事による危機打開という反人民的暴挙に走らせたのである。

われわれのとるべき態度は、日米両政府の徹底弾劾、新安保ガイドライン粉砕、関連法絶対阻止のために全力で立ちあがることである。

日米政府の戦争国家化に絶好の口実を与えた北朝鮮のミサイル発射弾劾

北朝鮮の反人民的ミサイル発射は、日本政府が強めようとしている戦時国家体制づくりに口実を与え、ミサイル発射を「周辺事態」と言いこめるため、関連法案の正面突破にますます突き進んでいる。

労働者の戦争動員を許すな！
今たちあがれば戦争へ野道を阻むこともできる。
9・23に根こそぎ結集し、情勢をかえよう！

つぶせ新安保ガイドライン！ とめよう戦争法案！ 9・23全国総決起集會

とき・9月23日(水、休日) 正午

ところ・東京・代々木公園B地区

(JR原宿駅下車)

主催・反戦共同行動委員会

《連帯のあいさつ》

林 歳徳さん(在日台湾人元日本兵、在日外国人の人権を守る会)

小田原紀雄さん(組織的犯罪対策法反対運動から)

《全国の反基地・空港反対運動から》

北原敏治さん(三里塚芝山連合空港反対同盟)

知花昌一さん(沖縄反戦地主)

天野美恵さん(北富士忍草母の会)

永井満さん(関西新空港反対闘争から)

指定列車

【第一陣】千葉駅⑦ 10時34分
【第二陣】千葉駅⑩ 12時13分
※全支部から、全力で結集しよう！